

2019 年度 学会賞 募集情報と選考結果

西村 善博（2019 年度学会賞選考委員長）

会則第 3 条 4 及び学会賞・学会賞選考委員会規程に基づき、2019 年度学会賞選考委員会が発足しました。

学会賞選考委員会（敬称略）：

金子治平（会長）、上藤一郎（常任理事長）、菊地進、西村善博（委員長）

【学会賞の募集】

学会賞の運用に関する細則の内容に照らして選考委員の間で検討した結果、下記の要領で 2019 年度学会賞の募集を行うことになりましたのでお知らせします。

1. 推薦者

自薦，他薦を含め，学会員であればどなたでも応募できます（ただし，選考委員は除く）。

2. 受付期間

2019 年 2 月 1 日～3 月 31 日

3. 推薦の対象となる業績

原則，2019 年 1 月末日までに公刊された一連の著書，もしくは論文等。

とくに研究奨励賞については，若手研究者の支援という趣旨もあり，研究企画の秀逸さ・発展可能性にも着目しながら，「論文」にも重きをおいて選考します。また会長賞の推薦に当たっては，研究等の面での貢献に関する一覧リストによって業績に代替することができます。

4. 推薦書類

こちらのページから推薦書類がダウンロードできます。

推薦票，推薦書に所定事項を記入の上，該当となる業績資料 4 部を添えて提出してください。

なお，提出された資料については原則的には返却いたしません，特に希望される場合には，申し出により着払いでの返却とさせていただきます。

5. 推薦書類の提出先

大分大学経済学部 西村 善博 宛

6. 選考結果の公表及び表彰

選考結果については学会ホームページ等で公表し，2019 年度全国会員総会で表彰（賞状授与）します。

【学会賞の選考結果】

学会賞選考委員会（金子治平会長，上藤一郎常任理事長，小川雅弘，菊地進，西村善博）は，2019 年度学会賞を以下のように選考しましたので報告いたします。

1. 経済統計学会賞

高橋将宜会員（九州支部）

対象業績：

高橋将宜・渡辺美智子（2017）『欠測データ処理－Rによる単一代入法と多重代入法－』共立出版および以下9編の関連論文である。

[1] 高橋将宜（2018）「多重代入法による匿名データの解析特性の改善について－全国消費実態調査を例に－」，『統計学』第114号，pp.15-29。

[2] Takahashi, M., Iwasaki, M., and Tsubaki, H. (2017) “Imputing the Mean of a Heteroskedastic Log-Normal Missing Variable: A Unified Approach to Ratio Imputation,” Statistical Journal of the IAOS, vol. 33, no. 3, pp.763-776.

[3] Takahashi, M. (2017a) “Statistical Inference in Missing Data by MCMC and Non-MCMC Multiple Imputation Algorithms: Assessing the Effects of Between-Imputation Iterations,” Data Science Journal, vol. 16, no. 37, pp.1-17.

[4] Takahashi, M. (2017b) “Multiple Ratio Imputation by the EMB Algorithm: Theory and Simulation,” Journal of Modern Applied Statistical Methods, vol. 16, no.1, pp.630-656.

[5] Takahashi, M. (2017c) “Implementing Multiple Ratio Imputation by the EMB Algorithm (R),” *Journal of Modern Applied Statistical Methods*, vol.16, no.1, pp.657-673.

[6] 高橋将宜 (2017) 「諸外国の公的統計における欠測値の対処法—集計値ベースと公開型マイクロデータの代入法—」, 『統計学』第 112 号, pp.65-83。

[7] 高橋将宜・阿部穂日・野呂竜夫 (2015) 「公的統計における欠測値補定の研究：多重代入法と単一代入法」, 『製表技術参考資料』no. 30, pp.1-95。

[8] 高橋将宜・伊藤孝之 (2014) 「様々な多重代入法アルゴリズムの比較～大規模経済系データを用いた分析～」, 『統計研究彙報』第 71 号, no. 3, pp.39-82。

[9] 高橋将宜・伊藤孝之 (2013) 「経済調査における売上高の欠測値補定方法について～多重代入法による精度の評価～」, 『統計研究彙報』第 70 号, no. 2, pp.19-86。

2. 研究奨励賞 該当者なし

3. 会長賞 該当者なし

選考結果報告書については学会ホームページを参照ください。なお受賞者の表彰式は、大会総会において行う予定です。